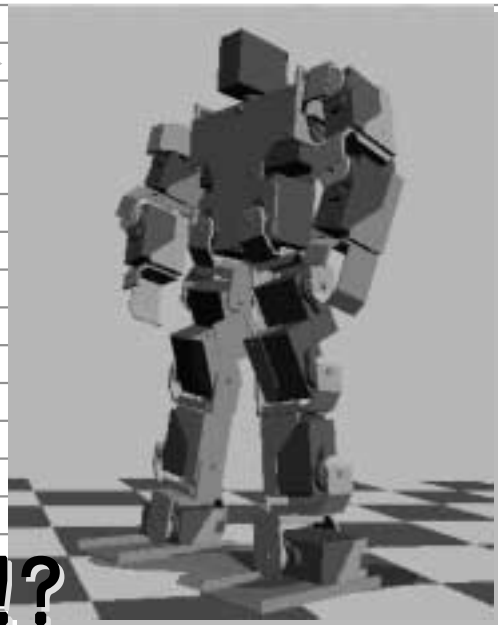




Virtual

KHR-1がなくても、
パソコンさえあれば
KHR-1のモーションが
作れてしまう.....

キミは バーチャル KHR-1を 知っているか!?



人気・知名度ともに抜群の二足歩行ロボットキット・KHR-1。このKHR-1の公式シミュレーターがあるのを知っているだろうか？数値を変化させて動かすだけでなく、本物のKHR-1のモーションデータのシミュレート/編集までできるのだ。KHR-1を持っている人も持っていない人も、必見のレポートをお届け！

あさ
梓 みきお

近藤科学公認の KHR-1シミュレーター

二足歩行ロボットの入門機として、押しも押されぬ存在となっているKHR-1。そのKHR-1の動きをwebブラウザ上でシミュレートできるサイトがある。

その名も「バーチャルKHR-1(http://www.majingaa.com/majingaa/report/v_KHR-1)」という、KHR-1の発売元・近藤科学公認のシミュレーターである。

しかし、サイトを製作したのは、ROBO-ONEやテレビの『ワールド レコーズ』でも有名な「マジンガア」の製作者、ゆみ教授 & さおとめ氏。じつは、もともとマジンガアのシミュレーターだったものを、KHR-1にリファインして公開しているのだ。

個人サイトだから、利用は無料。ただしインターネットエクスプローラーと、ブラウザ上で3Dグラフィックを扱うためのプラグインソフト「XVL Player」が必要になるが、前者はWindowsのパソコンなら標準で付いているし、後者もラティス・テクノロジー株式会社のサイト(<http://www.xvl3d.com/ja/products/xvl-player/index.htm>)から無料でダウンロードできるので心配は無用だ。一度インストールしてしまえば、筆者の持つちょっと古めのPC(Pentium -1GHz)でもサクッと動くぞ。

KHR-1のモーションデータがそのまま使える

この「バーチャルKHR-1」のすごいところは、シミュレーターで関節などを動かす数値の設

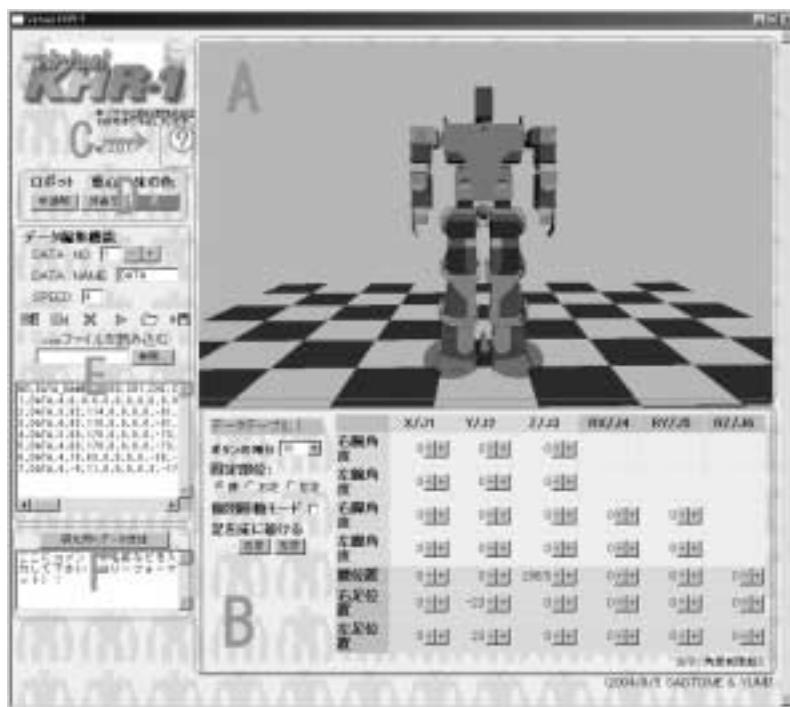


写真1 A:メイン画面 B:ポーズ編集エリア C:ヘルプ D:画面表示編集エリア E:モーションファイル編集エリア F:データ送信ウィンドウ

定が、そのまま本物のKHR-1の動作データとして使える点である。

たとえば、近藤科学のサイト(<http://www.kondo-robot.com/>)に行くとKHR-1のモーションデータをダウンロードできる。このデータを一度自分のPCに保存し、シミュレータ上で呼び出せば、画面の中のKHR-1がそのモーションをデータ付きで再生してくれる。ポーズごとに角度やスピードを変えることもできるので、

オフィシャルのデータにアレンジを加えることも可能だ。

また「.cvs」ファイル(KHR-1のモーションファイル形式)であれば読み込み/再生可能なので、KHR-1ユーザーが自分で作ったモーションデータも使え、PC上で3DデータになったKHR-1によってシミュレートできる。

まあ、百聞は一見にしかず。さっそくアクセスしてみたい。